

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I-1 (1)	全職員が理念を認識、理解していない疎かになっている。	全職員が施設理念を理解し日頃のケアを考える時、施設理念と照らし合わせながらできるようにしていく。	申し送りやカンファレンス、ミーティング時施設理念を確認していく。新入職員や異動してきた職員にも随時、施設理念を伝えていく。常に理念に基づきケアの実践に取り組んでいく	6ヶ月
2	Ⅲ-26 (10)	介護計画、モニタリングの期間の見直しをし現状に即した介護計画を作成していく。	介護計画の期間を短縮しモニタリングは1～2ヶ月毎に実施し現状に即した介護計画を作成する。	カンファレンスやモニタリングを月1回行い随時、現状に即した介護計画を作成していく。	3ヶ月
3	I-1 (3)	2ヶ月毎に運営推進会議は開かれているが、出席者に片寄りが見られる。	運営推進会議メンバーの参加者の片寄りがないよう会議内容を工夫し働きかける。	会議開催日時の検討を行う。参加できない方には書面にて意見をもらうようにしていく。行事や勉強会にあわせ開催していく。事業所からの報告だけではなく、地域、行政の方からの情報を教えて頂きサービス向上、運営に活かしていく。	12ヶ月
4	Ⅲ-35 (13)	災害対策として避難訓練は実施しているが、地域との協力体制が築けていない。	近隣住民の方や地元消防団へ災害時の協力依頼をしていく。	避難訓練時には近隣住民の方、地元消防団の方に参加依頼をしていく。また施設の図面を配布し部屋の配置、入居者の自立度、避難経路を確認して頂けるようにしていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。